FURUTECH

Review

Audio Accessory
2016 SUMMER 161 - JAPAN

AA アクセサリー Special Issue

フルテックがレコードファンに向けて アナログアクセサリー3モデルを新発売！

フルテックは、同社ならではのオリジナル技術や高品位素材を駆使し、ハイエンドオーディオへの熱い想いを込めたアナログ関連ニューアイテムを発売する。すでに同社は定評あるレコードアクセサリーのラインアップを持つが、今般さらに進化させ、あるいは趣味のアイテムとして多角的な魅力を追求し、ここに実現させたものである。早速、製品に込められたこだわりと、その音の成果をレポートしよう。

Text by 井上千岳 Chitake Inoue
Photo by 田代法生

FURUTECH Silver Arrows-Ⅱ-R4
フォノケーブル（RCA—RCA）
¥190,000／1.2m（税別）

FURUTECH Silver Arrows-Ⅱ
フォノケーブル（DIN—RCA）
¥184,000／1.2m（税別）

●導体：OCC素材に銀を調合した“銅銀合金”α-導体●RCAプラグ：α-OCC＋ロジウムメッキ●5PIN-DINプラグ：非磁性体の燐青銅＋ダイレクトロジウムメッキ●シールド：3層●ケーブルクランプ部：最新の制振素材によるフルテック・ネオダンパーテクノロジー採用●ケーブル径：10.0mm

※Silver Arrows-Ⅱ-L（L・DIN—RCA、1.2m／¥184,000、税別）と、Silver Arrows-Ⅱ-XLR（DIN—XLR、1.2m／¥190,000、税別、受注生産）もラインアップ

独自の技術とノウハウを盛り込んだ意欲的アイテム

フルテックから、アナログアイテムのニューモデルが揃ったので、まとめて紹介したい。

●フォノケーブル
緻密な表情を濃密に描き出し明瞭で力感に富む厚手の表現

まず、このところ製品数が増えてきたフォノケーブルである。Silver Arrows-Ⅱという上位モデルで、一般的なDINタイプのほか、L字型DINタイプ、それに両端RCAタイプ、さらに特注でDINとXLRキャノンタイプも用意されている。

導体はOCC銅に銀を調合した銅銀合金とし、これに超低温処理その他の物性処理を行ったα-導体を形成している。興味深いのはプラス側とマイナス側で構成が異なる点で、プラス側はPVC絶縁の1芯。これに対してマイナス側はPE絶縁の2芯をひとつにまとめている。シールドは3層構造だ。

DINプラグはステンレス素材の削り出しにカーボンファイバーで仕上げを施している。またDINプラグおよびRCAプラグとも、ロジウムメッキで処理している。さらにケーブルクランプ部は、最新の制振素材によるネオダンパーテクノロジーも採用した。

輪郭の明瞭な、にじみのない音調

はフルテックらしい特徴に溢れたものだ。またエネルギーの乗り方が高く、力強さにも富んでいる。

古楽器によるバロック演奏は、その繊細な手触りを損なわず、ディテールの隅々までていねいに信号を拾い上げている。表情も緻密に描き出され、音のひとつひとつが丹念に刻まれた印象である。

ピアノは表情の濃密な再現で、強弱のコントラストが豊かだ。弱音のデリケートなタッチもノイズに埋もれることなく引き出され、フォルテの強靭なアタックと強い対照を作り出している。また背景が静かなため、音の彫りが深い。それで一層陰影が色濃く感じられるのである。

オーケストラでは、強靭な爆発力がエネルギーたっぷりに再現されている。楽器それぞれの密度が高く、低域の厚手な捉え方や力感の高さによって、炸裂するような峻烈な表現が実現している。逆に木管などの弱音はひっそりとして静かだ。仄かな艶も乗って、滑らかな質感と響きが感じられる。

コーラスの響きは整然として濁りがない。音場の余韻に声そのものが消されてしまうことはなく、奥行きの深い空間に混濁のないハーモニーが充満している。空気の厚みを感じる鳴り方である。

●シェルリードワイヤー
緻密で繊細な透明感を備えて濁りや暴れのない峻烈な描写

次にヘッドシェル・リード線、La Source 103に注目したい。導体は純銀メッキα-OCCである。0・2㎜径の素線7本を撚り合わせ、コンタクトピンは燐青銅削り出しにロジウムメッキを施している。先端に4カ所の切れ込みを入れ、安定性を高めた特殊形状だ。被覆はオーディオグレードのポリエチレン。結線は無ハンダの圧着仕上げである。

信号の流れが良く、滑らかで引っかかりのない再現性と言っていい。ゴツゴツしたぎこちなさがなく、緻密で繊細な透明感も持つ。

バロックは静かで均質な鳴り方をする。ヴァイオリンやオーボエなどの独奏楽器が艶やかで伸びのいい音色を示し、アンサンブルは濁りのない響きで見通しがいい。ピアノも暴れがなく、にじみのないタッチが緻密な肉質感で描き出されている。輪郭も明瞭だ。

オーケストラは弱音の繊細な手触りが鮮やかで、トゥッティではエネルギーが峻烈に弾ける。強烈ではないがパワフルである。またコーラスは空間の余韻がしっとりと響き、ハーモニーが透き通るような柔らかさで再現されている。

●レコードスタビライザー
音色や音調に変質を与えず一層鮮烈かつ静寂な余韻を表現

最後にスタビライザーだが、これもまた意欲的な製品である。Monaco(モナコ)という。

サイズは径45㎜と小さい。しかし意外に重量はあって、210gと決して軽量級ではない。

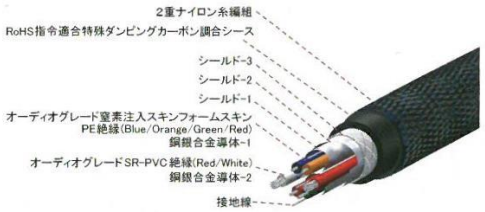
基本的にはステンレスブロックからの削り出しである。これにカーボンファイバーのトップシートとリングで仕上げを行っている。

さらに注目されるのが制振シートだ。セラミックとカーボンをナノ単位のパウダーとし、これをシートに調合して天面と底面に貼ってある。また底部には同心円状に8本のスリットを入れ、共振を防ぐ構造だ。なおスピンドルホールにも、抵抗を低減する特殊樹脂が採用されている。

サイズからの印象とは異なり、大変よく効くスタビライザーだ。盤面の振動をきれいに吸収してしまう感触で、どのレコードでも周囲が静かになったのを感じる。

その上でバロックは古楽器の瀟洒な手触りがちょうどよく、ピアノはがっしりしたタッチの彫りが深い。オーケストラはトゥッティの爆発力が冴えて、一層鮮烈。コーラスは静寂な余韻に包まれる。音色や音調に変質がなく、エネルギーを弱めないのも頼もしい。

非常に入念な作りのSilver Arrows-Ⅱケーブル部の仕様、構造と材質

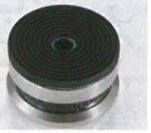


α-導体とは、銅銀合金、OCC導体、μ-導体、μ-OFC導体に超低温処理を始めとする独自のαProcessにて処理を施した導体

FURUTECH
La Source 103
シェルリードワイヤー
¥13,800／4本組(税別)

●導体：0.2mm純銀メッキα(Alpha)OCC導体7本撚り●被覆：特殊オーディオグレードPE(外径1.4mm)●導体とピンの接続：無ハンダ・圧着仕上げ●コンタクトピン：無垢燐青銅の精密削り出し、ロジウムメッキ●ピン先端部：4ポイント接触設計の特殊形状●サイズ：2.4mmφ(最大)×43mm(長さ)

FURUTECH
Monaco LP Stabilizer
ディスクスタビライザー
¥29,800(税別)



裏側はカートリッジからの共振を防止する構造

●構造：非磁性体ステンレスブロック精密削り出し+カーボンファイバー仕上げ、2段構造●スピンドルホール部：摩擦抵抗を軽減させる特殊樹脂材●材質：非磁性体ステンレスブロック+高性能制振シート●仕上げ：クロスカーボンファイバー●サイズ：高さ28mm±0.5mm×45mmφ●質量：210g±5g

マニア待望、NCFバージョン
壁コンセントのシングルタイプも発売!

GTX-S NCF(R)
ロジウムメッキコンセント
¥18,700(税別)

純銅電極構造(2wayコンダクター)を採用した、同社最高級20A壁コンセントGTXシリーズの樹脂部分に、静電気対策の特殊素材NCFを調合した「GTX NCFシリーズ」。遂に、待望の一口タイプが加わる。ノイズの発生を抑えて静寂感を高め、音の濁りがなくなることで、埋もれていた音源本来の魅力を引き出す。発売は8月24日。

●取り扱い：フルテック(株) 〒142-0041 東京都品川区戸越3-9-1フルテックビル TEL：03-6451-3941 URL http://www.furutech.com